

サークル成員行動尺度作成の試み ーサークル・コミットメントとの関連からー

○長峯聖人 (筑波大学大学院)

外山美樹 (筑波大学)

キーワード：サークル，サークル・コミットメント，組織市民行動

問題と目的

近年，大学サークルを対象とした研究は増えてきているが，その中で橋本・唐沢・磯崎 (2010) は組織研究における組織コミットメントをサークルに適用し，サークル・コミットメント尺度を作成した。サークル・コミットメントは組織コミットメントとは異なる構造をしており，その上で橋本他 (2010) はサークルを単なる組織とは異なる準組織であるとしている。

橋本他 (2010) は興味深い知見を示したが，測定しているのはあくまでコミットメントに留まっている。しかし，組織においては組織コミットメントが組織市民行動という向組織的な行動につながるものが明らかになっている (西田, 1997) ため，サークルにおいてもサークル・コミットメントから向サークル的な行動につながると予想される。しかし，未だ向サークル的な行動を測定する尺度が作成されていない。

したがって本研究では，向サークル的な行動 (サークル成員行動) を測定する尺度を作成し，サークル・コミットメントとの関連を検討する。また，サークル・コミットメントと関連が強いとされる集団凝集性も併せて検討を行う。

方 法

分析対象者 関東地方の大学生253名 (男性135名，女子118名，平均年齢19.21歳， $SD=1.31$)

調査時期 2015年10月～2015年11月

調査内容 1. サークル成員行動尺度 (予備調査に基づき作成)，2. サークル・コミットメント尺度 (橋本他, 2010) を使用した。

結果と考察

サークル成員行動尺度の因子構造

サークル成員行動尺度に対し，最尤法，Promax 回転による因子分析を行った結果，4 因子解が得られた。第1因子は“良い結果を残すための努力をしている”などの項目であり，“個人的な努力”と命名した。第2因子は“メンバーに対して思いやりを持って接している”などの項目であり，“成員との交流”と命名した。第3因子は“サークル内での整理整頓を実践している”などの項目であり，“成員への配慮”と命名した。第4因子は“自分から飲み会や遊びの予定を立てるようにしている”などの項目であり，“リーダーシップ”と命名した。いずれの下位尺度も α 係数は十分な値であった (.79～.89)。各項目の内容ならびに因子パタ

ーンを Table 1 に示す。

サークル成員行動尺度とサークル・コミットメント尺度との関連

サークル成員行動尺度とサークル・コミットメント尺度 (情緒的，集団同一視，規範的) との関連を見るため，相関係数 (Pearson の積率相関係数，以下同様) を算出した。

サークル・コミットメント尺度 (情緒的，集団同一視，規範的) において，“個人的な努力”“成員との交流”，“成員への配慮”，“リーダーシップ”の全てと有意な正の相関が見られた (順に， $rs=.40 \sim .59$ ， $ps<.01$ ； $rs=.46 \sim .72$ ， $ps<.01$ ； $rs=.26 \sim .53$ ， $ps<.01$ ； $rs=.30 \sim .57$ ， $ps<.01$)。

この結果から，サークル成員行動とサークル・コミットメントの間には一定の関連があることが示された。

Table 1
サークル成員行動尺度の因子分析結果

項目	F1	F2	F3	F4	g^2
第1因子 個人的な努力 ($\alpha=.89$)					
良い結果を残すための努力をしている	.84	.04	.02	.04	.81
目標を決めて努力している	.79	-.04	.15	-.01	.74
サークル活動がなくても，個人的な努力 (練習・研究) をしている	.76	-.11	-.08	.17	.55
自分の力を伸ばすための情報を集めている	.73	.01	-.02	.12	.64
公式のイベントや大会に参加している	.69	.00	.13	-.13	.50
イベント (大会，コンサートや展示会等) に全力を尽くしている	.59	.10	.07	-.05	.45
第2因子 成員との交流 ($\alpha=.86$)					
メンバーに対して思いやりを持って接している	.04	.83	-.02	.03	.74
メンバーに対する気遣いを忘れない	-.18	.79	.05	.14	.65
サークルのメンバーのことを理解しようとしている	.10	.63	-.13	.16	.53
活動に参加することでサークルとの繋がりを維持している	.04	.63	-.17	.22	.51
気に入らないメンバーには冷たく当たる (*)	-.08	.59	-.02	-.21	.21
時間があるときは活動に顔を出すようにしている	.39	.51	-.16	-.05	.47
割り振られた仕事をこなしている	.09	.50	.24	-.05	.49
メンバーに会った時には挨拶をしている	.26	.43	.12	-.11	.42
第3因子 成員への配慮 ($\alpha=.82$)					
サークル内での整理整頓を実践している	.07	.06	.85	-.17	.71
備品の汚れが気になったらきれいにしておく	-.18	-.02	.78	.04	.56
サークルの活動場所を進んで片付けている	.04	.03	.76	-.07	.58
活動場所の戸締りは忘れずに確認している	.15	-.23	.55	.19	.42
手が空いていたら，他の人の仕事を手伝うようにしている	.09	.31	.47	-.10	.50
備品を汚すような食べ物や飲み物はなるべく遠ざけるようにしている	.13	-.11	.45	-.04	.22
第4因子 リーダーシップ ($\alpha=.79$)					
自分から飲み会や遊びの予定を立てるようにしている	.03	-.03	-.26	.73	.40
話し合いではサークル活動に役立つような意見を述べている	-.08	-.02	.21	.63	.50
メンバーに対して気になる点を指摘するようにしている	.19	-.01	.05	.60	.55
他のメンバーの手本となるように努力している	.10	-.10	.26	.58	.57
困っているようなメンバーには積極的に声をかけている	-.13	.31	.21	.42	.51
因子間相関					
	F2	.62			
	F3	.51			
	F4	.55	.52		

注) (*) は逆転項目を表している。